

平成 29 年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第 4 回理事会

日時 平成 29 年 9 月 13 日 (水)

午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 29 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 4 回理事会

日 時 : 平成 29 年 9 月 13 日（水） 午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分

場 所 : （一社）静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名（理事 18 名・監事 2 名）

山口浩司 杉澤きよ美 藺田明広 清水憲雄

都築農夫志 中島和浩 須田達也 羽切政仁 勝又隆子

川口貴子 佐原卓夫 松本誠司 伊藤喜章 市川千津子

三宅和秀（監事） 藤原誠（監事） 鈴木真紀子（書記）

（17 名／全 20 名中 うち理事 15 名／全 17 名中） *敬称略

欠席者 : 直田健太郎 山田哲司 遠藤三佳

議長及び議事録署名人選出

議 長 山口浩司

議事録署名人 藺田明広 伊藤喜章

次回理事会 : 未定(11 月頃)

書記 : 羽切理事

議題

1. 前回議事録確認
2. 常務理事会報告
 - ①第 67 回日本医学検査学会運営委員会について
 - ②都道府県技師会リーダー育成研修会について p. 2～
 - ③医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画 担当者研修会について p. 6～
 - ④災害対策マニュアル及び、責任者について p. 17
 - ⑤検体採取などに関する厚生労働省指定講習会開催の実務員数について p. 19
 - ⑥地方創生の実現に向けた規制改革の提案の募集について p. 20
3. アンケート関係について p. 23
4. 日臨技関係「検査と健康展」について p. 26・別冊
5. 各部局報告・審議事項
 - ◇ 学術部 別冊 A p. 1～、別冊
 - ◇ 組織部 別冊 A p. 8～
 - ◇ 広報部 資料無し
 - ◇ 会計部 別冊 A p. 29～
6. 日臨技支部研修会運用マニュアル資料説明 p. 29～
7. その他

1. 前回議事録確認 [伊藤事務局長]

・出席した全理事により議事録の確認が行われ、第2回及び第3回理事会議事録の作成が滞りなく終了したことが報告された。

2. 常務理事会報告

①第67回日本医学検査学会運営委員会について [山口浩司会長、伊藤事務局長]

8月19日に行われた第67回日本医学検査学会運営部会(第2回)の報告があった。静臨技から、山口浩司学会長、伊藤喜章実行委員長及び藺田明広事務局長が出席した。

議事概要記録の内容は以下のとおり。

・会場レイアウト、予算などについて話し合われ、現在は骨組みを作っている段階であり、会場の導線や学術企画について見直しを行い、日臨技の承認後に随時進めていく。詳細や当日の運営について、実行委員である理事の各人に対して協力を呼びかけた。

・JAMT マガジン9月号には、演題募集が掲載される。またウェブサイトにも近くアップされる。

・JAMT マガジン11月号には、学術企画の内容が掲載される予定である。

②都道府県技師会リーダー育成研修会について

[山口浩司会長]

「地域ニューリーダー育成研修会」の受講申請及び推薦について依頼が来ている事を受け、平成26年より開催されてきた。今年で4年目の事業の推薦者について検討した。これまで、東部地区、中部地区、西部地区より1名ずつ推薦してきたため、4年目の今回は県下全般から推薦者を出したい。

《審議事項》複数の候補者の中で、今回は磐田市立総合病院の大井さんに打診することになった。

➡理事会にて承認を得る。

③医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画担当者研修会について [山口浩司会長]

日臨技管理資産(検体採取用シミュレーター)が申請書を提出することで貸し出しが出来る旨の説明がされた。併せて、「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画担当者研修会」推薦者選出の検討がされた。

《審議事項》受講資格要件に基づき、理事の学術部より鈴木理事が候補に挙げた。

➡鈴木理事の日程調整が出来なかったため、学術部門から再度選出を行う。理事会の開催日程が未定なため、メール審議で選出を行う。

④災害対策マニュアル及び責任者について〔山口浩司会長〕

日臨技災害時支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者の任命について依頼があり、推薦者選出の検討がされた。

《審議事項》組織部より須田理事が候補に挙げた。

➡理事会にて承認を得る。

⑤検体採取などに関する厚生労働省指定講習会開催の実務員数について〔山口浩司会長〕

次回12月2、3日に名市大で開催される講習会は静岡県が担当。

中島常務理事、直田常務理事、都築常務理事の3名に実務委員を依頼する。

3名は準備のため前日入りとなるが、金曜日は山口会長も出席する。

- ・5月開催の講習会についても静岡県が担当。その際の実務委員予定のメンバーが、今回同行することを考慮してもいいのではと、伊藤事務局長より提案があった。

⑥地方創生の実現に向けた規制改革の提案の募集について〔伊藤喜章事務局長〕

伊藤事務局長より、静臨技ウェブサイトに掲載することで会員に広く募集が出来る旨の提案がされた。

《審議事項》地方創生の実現に向けた規制改革の提案募集をウェブサイトに掲載することで協力する。

➡理事会にて承認を得る。

3. アンケート関係〔山口会長〕

過日、日臨技で全国学会の在り方についてアンケート調査が実施され、その結果報告があった。

4. 日臨技関係「検査と健康展」について〔中島和浩常務理事〕

- ・日程（11/12日曜日）、開催場所（エスパルスドリームプラザ）。

機器等の設置完了は10時30分とし、その後レクチャーなどに費やして11時開始とする。

- ・開催内容について、昨年度の内容（頸動脈エコー、体成分分析検査、実体顕微鏡および光学顕微鏡、臨床検査技師の仕事紹介、静脈可視装置）以外に、SMBGと新型電子血圧計

を加えて実施することが説明された。また、SMBGの検査結果と頸部エコー検査結果から対象者を絞って行う検査相談のために、県立総合病院の島田俊夫先生が参加する。

- ・動員は中部支部施設から出す。

- ・動員人数は未決定であるが、ビブスの準備が必要なため早めに決める。
- ・注意点として、控室が他のスタッフ用と区切られておらず、貴重品は置くことが出来ないこと、体成分分析装置のメーカーが昨年度と違うことの説明がされた。
- ・検討事項として、前日に名古屋本会場で日臨技の物忘れ相談プログラム装置が使用されており、これを、我々も使用するか否かの話し合いがされた。日臨技としても実施して欲しい検査であることも併せ、実施する方向で考えていく。使用にあたり、前日に三宅監事が名古屋会場まで取りに行くことが提案された。
- ・改めて中島常務理事と藺田副会長が下見に行き、レイアウト及び開催内容を詰めることとなった。
- ・検討事項として、元理事で静岡日赤の栗原さんから、「検査と健康展」の会場内でピンクリボン活動をしたいという申し出があった。承認はできないが、近くを使用することに断る理由は特別ないという意見が出た。
- ・エコー検査は昨年の混雑を考慮し、整理券を配布することも検討していく。
- ・昼食について、昨年度同様のお弁当の支給ではなく食事代を出す方向で進める。
- ・藺田副会長より、スケジュールなどの詳細を決めるにあたり、中部支部で確認し、理事全員にメールを配信するという形を取ってよいかとの提案があった。

⇒昨年度の実績があるので、中部支部で確認後、理事全員にメールを配信という流れで進めていく。

- ・配布チラシ、立て看板のポスターについて、2点の訂正指示があった。1点目は、「後援団体」の団体の文字を消し、文字を行先頭に持ってくること、2点目は、「無料で検査が出来ます」という表現ではなく、「検査の体験ができる」という表現に改めること。これら2点以外には異論がなく、2点訂正を行い、印刷を進める。
- ・山口会長より、補足として、本事業は日臨技直轄の事業として47都道府県で開催すること、また「無料健診」ではなく「検査業務の紹介」という主旨で開催する「検査と健康展」であることを理解してほしいとの話があった。
- ・三宅監事より、清水地区にある病院の採血室などに配布チラシを置くことで、宣伝効果が見込めるのではないかとこの提案があり、協力を要請する。
- ・三宅監事より、中北薬品が宣伝中である活命茶の500ml 1ボトルを来場者に配布したらどうかという提案があり、体験者に結果を渡す時などに配布するという方向で進める。清水副会長より、施設内に空きペットボトルが出ることが予想されるため、空きボトル回収の準備も必要ではないかとこの提案があった。配布方法やゴミの回収方法も含め、Distanceに相談しながら準備を進める。

5. 各部局報告・審議事項

◇ 学術部〔清水副会長（学術部長）〕

《報告事項》

- ・研修会開催申請が9件、研修会終了申請が7件あった。

- ・平成 29 年 10 月 12 日開催の「平成 29 年度浜松市衛生検査所精度管理責任者等研修会」の開催について、浜松市より案内が来ている。ウェブサイト案内に掲載する。
- ・平成 29 年 10 月 28 日に「平成 29 年度認知症対応力向上講習会」が静岡臨技事務所で開催される。現在 8 名の応募がある。定員は 15 名であるため、理事の各人に対して開催について案内するよう協力を呼びかけた。15 名定員の講習会であるため複数回行う必要があるが、反響を見ながら検討したい。
- ・平成 29 年度衛生検査所立ち入り検査の実施について、静岡県から依頼があった。9 月には 6 日間にわたり、8 施設の立ち入り対象施設において実施予定である。理事からは清水副会長、直田常務理事、羽切理事が委員として派遣が決定している。委員について、今回派遣される委員は 2 年任期であるため、今年度末に任期満了となり、次回の委員の選出が必要となる。今年度は 3 名の理事が選出されているが、次回は 2 名が必要となる。学術部門で相談したい。
- ・平成 29 年度精度保証施設認証制度の申請について、日臨技から精度保証施設として申請が可能な施設があるため、理事各人に対し案内の協力を呼びかけた。10 月から 11 月に申請が始まるため、会報などで案内をする予定である。
- ・静岡市より静岡市衛生検査所精度管理専門委員会委員の委嘱について、通知が来ている旨の報告があった。前回の理事会で、県立総合病院の大石和伸さんに引き続きお願いすることが承認されている。

《協議事項》 精度管理調査報告会について。

- ・平成 29 年 10 月 22 日に「精度管理調査報告会」を開催する。前回の理事会で、平成 29 年度精度保証施設認証説明会の講師として、千葉県がんセンターの末吉茂雄先生が決定している。報告会終了後、約一時間ご講演をして頂く。報告会終了予定時刻が 12 時半であるため、昼休みなしで開始し、最終終了時刻は 13 時半となる。理事所属の施設を含め、多くの施設の方々に参加して欲しいと、協力を呼びかけた。
- ➡異論なし。
- ・開催案内は、10 月号会報に同封される。参加施設に対してメール配信で参加を呼びかける予定である。
- ・開催案内の「精度保証施設・共用基準範囲説明会」講演の記載が小さく分かりにくいため、参加者が閉会を 12 時半と誤解する可能性があるとの意見があり、メール配信の際に、閉会後に講演を開催する旨を明記することと、開催案内と別に、講演の案内も同封することとなった。
- ・精度保証施設・共用基準範囲説明会は日臨技より 1 時間と指定されている。その後、県内で唯一の運用実績がある県立総合病院より、実際の運用について話をしてもらったらどうかという提案があがった。話をしてもらうのであれば、末吉先生の後には 20 分くらいという意見があがった。
- ・精度管理成績検討会の役割分担について、昨年とほぼ同様という事で説明があった。役

割分担で遠藤理事の箇所のみ訂正を入れる。理事各人に対して、当日運営の協力を呼びかけた。当日の集合時間は8時半という説明があった。

- ・当日使用するPCについては、都築理事が当日事務所に来て準備を行う。受付用PCは4台、メイン会場で使用するPCは1台の計5台必要となる。会長、藺田副会長、伊藤事務局長、山田理事が1台ずつ用意するのに加え、技師会の新PCを使用し、都築理事のPCを予備として持参してもらう事に決定した。
 - ・WiFi ルーターは3台準備する。技師会のもの、伊藤事務局長及び会長のものを使用することに決定した。
 - ・プログラムについて、訂正3箇所の指摘があった。臨床化学検査部門の脂質系、免疫血清の報告者が、いずれも秋山技師であることを訂正する。微生物検査部門の報告者所属先の、静岡赤十字病院の院が抜けているため追加する。病理検査部門討論者の森弘樹先生の役職を、医長から科長に訂正する。
 - ・プログラムについて、閉会後に「精度補償施設・共用基準範囲説明会」開催の案内が見にくいため、以下の備考の①～③を改行しないで詰めたうえで、開催案内の*の文章を強調する。
-
- ・日本検査血液学会より、静臨技が共催した事業について、静臨技のウェブサイトに掲載し、会員に周知してもらう事は可能かどうかという問い合わせがあった。
➡共催した事業は、ウェブサイト掲載や静臨技ニュースなどで、広く会員に知ってもらう必要がある。

《審議事項》

- ・静臨技登録団体に、3団体より申請があった。
「静岡県中部糖尿病療養指導士養成運営委員会」
「静岡県臨床細胞学会細胞検査士会（静岡県細胞検査士会）」
「日本検査血液学会 静岡支部」
➡理事会にて登録団体として承認を得る。
但し、現在医師名で申請されている静岡県中部糖尿病療養指導士養成運営委員会については、申請者を、技師会員である青島さんで申請し直してもらう。

○登録団体の申請があった際に、今後どのように承認していくかの検討がされた。申請者は技師会員でなければならず、確認が必要である。

○新規申請団体については、会則と名簿が必要。更新の場合は、活動報告の提出をお願いする。

○承認には常務理事会の日付が必要である。

○現在、更新時期は理事の交代時期と重なるため、理事が業務に慣れた1年後にずらして、今回の新規登録、更新については平成31年6月末日までとする。期間は最大2年とし、申請時期に関わらず全ての団体の更新時期を合わせるという提案があ

がった。

➡理事会にて承認を得る。

○日臨技の規定には登録団体の基準があるが、静臨技としての規定を作るべきだという提案があがった。規定の作成に関しては、今後検討していく。

○後援と共催の区分を明確にしなければならないという意見があった。共催に関しては、研修会ごとに点数付与が出来るかどうか、都度協議する必要があるとの意見があった。

・第7回日本検査血液学会静岡支部形態セミナーの共催依頼があった。静臨技が負担する経費及び使役はなく、点数付与の依頼となる。

➡理事会にて承認を得る。

◇ 組織部〔杉澤副会長（組織部長）〕

《報告事項》

各種表彰について

・各種表彰の候補者について、推薦依頼のあった以下4件について対象者なしで報告済みである。

○平成30年春の勲章・褒章

○公益信託臨床検査医学研究振興基金「研究奨励金」「藤田光一郎賞」

○平成29年度秋季善行表彰

○平成29年度公衆衛生事業功労者の表彰

・第46回医療功労賞候補者の推薦について、9月22日期限となっている。

➡対象者なしで報告する。

・外国人対象の表彰について、現在外国人の会員はいないため候補者なしで報告をした。

・結核研究奨励賞候補者推薦については、各支部に調査依頼をしている。

・平成30年度静岡県知事表彰候補について、現在、候補を豊田元理事1名に絞り申請準備中である。

・平成30年度秋の叙勲・褒章候補者の推薦について、例年公募から申請までの期間が非常に短いため、事前に対象者などが分かる資料を配布したいという提案があった。配布自体には問題はないという事になった。しかし、県の技師会で推薦するという形になるので、組織部の表彰委員会で候補者の推薦に基準の一覧表のようなものを作っておくと、今後推薦がしやすくなるのではないかという意見があった。

・勲章・褒章候補者については、対象者をピックアップしておいて、既定の年齢まで待つなどの方法もあるとの提案があった。

会員名簿について

・会員名簿が完成し、9月号の会報に同封して送付手配中である。前回は700冊印刷したが今回から自宅会員には希望者への配布としたため600冊の印刷とした。

・前年度会員名簿の回収にあたり、今年度名簿発送時に返送依頼の文書を同封した。

- ・新(再)入会員には定款・諸規定冊子を送付しているが、冊子の残数が少なくなってきたため、印刷をしたいという意見があった。この意見に対し、ウェブサイト上に掲載し、ペーパーレスとするとよいのではという提案があがったが、定款は変わらないが、細則の変更が非常に多いため、難しいのではないかという意見も出た。細則の変更があることに関して、今回は一旦印刷に出し、校正時に担当を決めて練り直していくという案が出された。

会員名簿の発行は、個人情報保護の観点から静臨技 HP で閲覧に代替していく方針が総会でも示されており、他県の実施方法を参考にするなど準備を進めて行くこととした。

《審議事項》

- ・会員の異動について、新(再)入会 6 名、退会 2 名、施設変更 2 名、施設郵便番号変更 1 件の報告があった。

➡理事会で承認された。

- ・求人情報掲載について佐原理事より、前回の理事会開催日（5 月 31 日）以降本日（9 月 13 日）まで、掲載依頼が 9 件、削除依頼 0 件という報告があった。

《報告事項》

- ・直田理事からの伝言で、連盟に理事各人及び、関連施設に協力要請があった。
- ・記念誌について、記念式典で配布するのではなく全国学会の報告も含め、記念式典終了後の来年度末発行を目標に発行することとする。現在、組織部と松本理事を中心に過去の情報収集は進めており、発行は新理事を中心とした編集委員会に引き継いで進めてもらう予定であると報告があった。

《報告事項》

- ・直田理事からの伝言で、連盟に理事各人及び、関連施設に協力要請があった。
- ・記念誌について、記念式典で配布するのではなく全国学会の報告も含め、記念式典終了後の来年度末を目標に発行することとする。現在、組織部と松本理事を中心に過去の情報収集は進めており、発行は新理事を中心とした引き継いで進めてもらう予定であると報告があった。

◇ 広報部〔羽切理事〕

《報告事項》

- ・静臨技 HP について、各学術部門のウェブサイトは、遺伝子染色体部門を除いてすべて立ち上がったとの報告があった。ただ、更新があまりされていない。来年の全国学会でのスキルアップ研修開催もあるため、各学術部門へウェブサイトの更新依頼をかけている。

◇ 会計部〔市川会計部長〕

《報告事項》

- ・日臨技からの送金について、7月31日付けで、年会費及び入会金と学術助成金で合計133,000円、8月31日付けで年会費及び入会金と学術助成金、また「検査と健康展」開催助成金で合計615,000円の入金があったことが報告された。
- ・静岡県医師会より、平成29年度衛生検査所外部精度管理事業請負代金450,000円を、申請をして7月10日付けで受け取ったことが報告された。
- ・サーベイ参加施設の入金は、7月末にすべて終了した旨の報告があった。
- ・県学会ランチョンセミナー会場費の入金が終了したことの報告があった。
- ・名簿・会報の広告費は13企業中、12企業から入金があり、残り1企業については催促をした旨の報告があった。
- ・賛助会費について、51企業中、49企業からの納入があった。1企業については連絡済みである。また、1企業については昨年の納入を会計から事務所に連絡をしなかったため、賛助会費未納の取り扱いとなり、お知らせを送付していなかった。サーベイ参加施設においては、学術と連携を取っているが、賛助会員の諸々の入金についても今後、お知らせから入金の確認まで、組織部、事務所と連携を取って進めていくことになったことが報告された。
- ・会員名簿の支払いとして、組織部からの報告通り190,080円をみどり美術印刷に支払った旨の報告があった。
⇒広告費用の質問があり、広告費用については半分以上にならないようにと三宅監事に言われているため、部数が減ったため注意が必要であるとの意見が、山口会長からあった。
- ・ウェブサイト諸経費の支払いとして、ドメイン維持費及びサーバー使用料（1年分）として合計50,600円を、ディスタンスに支払ったとの報告があった。

◇ 事務局〔伊藤事務局長〕

《報告事項》

- ・出席された全理事により議事録の確認が行われ、第2回及び第3回理事会議事録の作成を滞りなく終えたと報告された。
- ・「検査と健康展」のポスターなどを含めた広告などの媒体には、共催団体及び後援団体名として、日臨技より指示のある団体名を印字する必要がある、今一度確認するよう呼びかけた。
- ・「検査と健康展」開催についての補助金を頂くためには、企画書及び予算書の提出が必要であり、本年度分を作成し提出した旨の報告があった。
- ・学会管理システムのシステム改修について、周知するよう依頼が来ている。
- ・9月30日及び10月1日に開催される平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会の学会記念式典に、山口会長が出席する。
- ・中部圏支部医学検査学会の学会プログラム集が届き、配布したことが報告された。

- ・平成 29 年度「県民健康セミナー」について、後援したことのお礼状及び事業報告書が届いている。
 - ・第 10 回不整脈セミナー、第 6 回心臓カテーテルセミナーについて、例年通り後援をすることが報告された。
 - ・平成 29 年度「医療安全推進研修会」の後援について、了承したことが報告された。
 - ・後援した理学療法士会第 20 回公開講座の事業報告書が届いている。
 - ・平成 29 年度静岡県がん征圧大会が開催予定であり、ポスターが届いている。
 - ・浜松医師会主催の減塩・低カロリープロジェクトが 11 月 26 日に開催される。静臨技が共催しており、西部地区中心で技師会のイベントとして行っていく予定である。打ち合わせが 10 月 3 日に行われる。打ち合わせには、山口会長、伊藤事務局長、直田支部長が出席予定である。動員は西部地区中心で、交通費の削減も考えて行っていく。昨年度同様、静医専の学生も含めて動員予定である。昨年まで伊藤事務局長中心で行ってきたイベントだが、本来なら支部長の役割である。今年から窓口は伊藤事務局長で、支部長中心で進めていく予定である。
 - ・都築常務理事から、平成 29 年度第 1 回静臨技東部支部会が 7 月 13 日に開催されたことが報告された。昨年度の活動報告と、今年度の活動計画が主な議題であった。また、11 月末から 12 月上旬には第 2 回東部支部会を開催したい考えであり、山口会長に参加依頼をした。
 - ・静臨技事務所のあるマンションが大規模修繕工事中である。マンション周りに工事車両が止まっており駐車スペースがない等の影響が工事期間中に多くあるため、使用される方や理事会に来る際には注意してほしい旨の連絡があった。また部門で使用する場合も、注意をするよう呼びかけた。
- ⇒駐車場はないが、駐車場入り口の壁すぐ横に駐車することは可能。2 時間ほどの駐車が可能であることが説明された。この際は、管理窓口に部屋番号を必ず伝える。
- ・千葉県より、役員改選の挨拶が届いている。
 - ・平成 29 年、9 月・10 月・11 月の行事予定が報告された。

全国学会の進捗報告

- ・8 月 1 日、9 月 5 日に実行委員会が開催された。次回以降開催予定は 10 月 7 日、11 月 7 日、12 月 5 日である。
- ・1 月 15 日には、展示イベントの抽選会が東京で行われる予定である。山口学会長、伊藤実行委員長、菌田事務局長、市川会計部長、三宅が出席予定である。同日に、運営部会も開催予定である。以降の予定は、3 月及び 4 月に 1 回か 2 回、状況を見て開催される。
- ・ファーマバレー、浜松ホトニクスを訪問したことが報告された。また、昨日 9 月 12 日には、山口大会長、伊藤実行委員長及び、JTB2 名で「ダブルまこと」と打ち合わせを行い、その後の講演にも招待された。さらに、9 月 20 日には、浜松医科大学の前川教授及び、濱田技師長に挨拶に行く予定である。
- ・演題募集は 10 月から始まり、11 月に締め切りを設定する。12 月第 1 週に締め切りを延

長することも検討している。

・日臨技のウェブサイト上で、全国学会のバナーが第66回のものから第67回のものに変更されている。各自確認してほしい。

・会場のレイアウトなどについて、パワーポイントを使用して詳細な説明があった。

○受付は事前受付、当日受付などで場所を変えず、1カ所にまとめる（地下1階）。賛助会員のみ別の場所に設置予定（1階）である。

○2階ロビーをポスター会場として予定している。

○研修センターは3階から6階までであるが、6階のみ会場として使用予定である。3階から5階までは全て控室として使用する予定である。

○研修センターの3、4、5階のピアノが設置されている部屋について、使用が可能となった。

○ホテルオークラ4階は懇親会会場として使用予定。ステージの前にVIP席を設置するが、立食形式で開催予定である。壁一面には椅子を配置する予定。

○展示イベントホールでは、物産展及び書籍販売コーナーを設置予定。また、連盟のブース、次期開催県のブース、eラーニングのブースなども設置予定。

○クラウンパレスホテルは3、4階に会場が設置されている。

○アクトタワー展望回廊は、全国学会の名札を提示すれば入場無料となるよう交渉を進めている。

・また進捗として、菌田副会長及び清水副会長で特別講演、教育講演及び各種シンポジウムについて進めており、今後プログラムに落とし込む予定であることが報告された。

6. 日臨技支部研修会運用マニュアル資料説明

・日臨技支部研修会運用マニュアルが来ている。参考にしてほしい。

7. その他

事務所用PCの購入について

・都築常務理事より、事務所の磯部さんが使用しているノートPCに不具合があり、買い替えについてメール審議した結果、承認されたため、既に発注した旨の報告があった。納期は、約1~2週間である。

協和医科さんとの公益事業について

・協和医科が主催するメディメッセージは、今年度は開催しないことに決定したと報告があった。次回は2018年11月23日（土）~24日（日）に浜松で開催予定である。

・本年度は公益事業として、影絵の実施が検討されている。

・メディメッセージ自体は、今後3年に1度開催することになりそうである。開催しない年については、小学校5、6年生を対象に、総合の授業の中で臨床検査技師の業務を紹介するという事が検討されている。

会員名簿について

- ・会員名簿を本日発送したことが報告された。
- ・個人情報保護の観点から要望も出ている事から、会員名簿の電子化について検討している。現在、都築常務理事に、電子化に伴う費用、仕様及び内容について検討するよう要請をしている旨の報告が、山口会長よりあった。

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 山口 浩司

氏名 _____ 印

議事録記名人 菌田明広
杉澤きよ美
清水憲男
三宅和秀
藤原 誠

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印